

学校の活動の様子を詳しくホームページに掲載しています。<http://www.school.umic.jp/nishiuchi/>（「西内小学校」で検索）ぜひご覧ください。スマートフォンやタブレット、パソコンどちらからでもご覧いただけます。

学校だより No. 3

上田市立西内小学校



われら西内小学校



令和2年7月30日

資源回収, PTA 作業 ありがとうございました



6月27日（土）に資源回収, PTA 作業が行われました。早朝から長時間にわたっての親子作業, ありがとうございました。

資源回収では, 各支部からたくさんの資源物を集めていただきました。子どもたちにとっては作業をしながらリサイクルの意義を体感することにつながるように思われます。

プール清掃は排水がなかなかされず, ポンプを持ってきていただいたり, バケツリレーをしていただいたりしました。保護者の皆様, 子どもたちのご努力, がんばりに感謝したいです。ありがとうございました。プールの排水ですが, 昨年の台風で内村川が増水したときに, 排水管に土砂が流入した可能性があります。改善してプール開きを無事実施することができました。

松を運んでいただいたり玉切りをしていただいた保護者の皆様もありました。また, 地域の学校支援ボランティアさんにも多数ご参加いただきました。ありがとうございました。

西内小学校を支えていただく皆様の力を感じた日となりました。いつもご支援ありがとうございました。

西内小学校 新型コロナ対策

学校が再開して2か月程が経ちました。

学校の新型コロナウイルス感染症対策は折に触れてお知らせしてきましたが, 熱中症対策も兼ねて若干変化してきています。

下にまとめましたのでご承知ください。

ご不明な点, 心配な点等ありましたら, 気兼ねなくお問い合わせください。

保護者の皆様には、登校前の検温等ご協力いただいています。
ありがとうございます。

1 マスクについて

- ・基本マスク着用です。
- ・熱中症予防として外す場合は、人と間隔をとるように声がけしています。できるだけ2 m，最低1 m。
- ・体育のときは外すのを推奨しています。
- ・児童本人が暑さで息苦しいと感じたときなどには、マスクを外したり、一時的に片耳だけかけて呼吸したりするなど、自身の判断でも適切に対応できるように指導しています。

2 給食

(1) 準備

- ・石鹸で手をよく洗うように指導しています。
- ・おかわりはビニール手袋をして職員が盛り付けるようにしています。
- ・食前には職員が机，テーブル，配膳台の消毒をしています。

(2) 食事中

- ・話すときは唾が飛ばない小さな声で話すように指導しています。

(3) 食後

- ・石鹸で手洗いをするように指導しています。
- ・食後は職員が机，テーブルをよく拭くようにしています。

4 手洗い

以下のタイミングでできるように指導しています。

- ①外から教室に入るとき ②咳やくしゃみ，鼻をかんだとき ③給食の前後
- ④掃除の後 ⑤トイレの後 ⑥共有のものを触ったとき

5 教科

- ・理科の実験，家庭科の調理実習
個人の教材教具を使用し，児童同士の貸し借りはしないようにしています。
器具や用具を共有で使用する場合は，使用前後の消毒や手洗いを行うようにしています。

6 換気

- ・エアコン使用時においても換気をおこなっています。
- ・換気は気候上可能な場合は常時，困難な場合はこまめに（30分に1回以上，数分間程度，窓を全開する），2方向の窓を同時に開けて行うようにしています。

7 その他

- ・図書館の本の貸し借り，検診など足型マークをもとに，ソーシャルディスタンスをとれるようにしています。
- ・全校集会などソーシャルディスタンスをとって集まっています。
- ・児童がよく手を触れる箇所（ドアノブ，手すり，スイッチなど）は，1日に1回以上消毒をしています。
- ・毎朝児童が教室に入る前に，健康観察カードを確認しています。

警戒レベル2 新型コロナ対策

前頁の記事をまとめていたところ、7月29日、新型コロナウイルスの新規感染者が県内で再び相次いでいることから、感染状況を3段階で示す長野県独自の「感染警戒レベル」が、全県一斉にレベル2の「域内感染発生期」に引き上げられました。

それを受け、西内小学校では前頁の新型コロナ対策に加え、レベル2の対策に取り組み始めました。前述「西内小学校 新型コロナ対策」とあわせてお読みください。

レベル2の対策

給食後歯磨き

向かい合わない、おしゃべりをしない。うがいは少ない水で、低いところでゆっくり吐き出す。

各教科

各教科における「感染症対策を講じてもおお感染のリスクが高い学習活動」として、以下のような活動を設定しました。（「★」はこの中でも特にリスクの高いもの）

- ・各教科等に共通する活動として「児童が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」（★）
- ・理科における「児童同士が近距離で活動する実験や観察」
- ・音楽における「室内で児童が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」（★）
- ・図画工作における「児童同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」
- ・家庭における「児童同士が近距離で活動する調理実習」（★）
- ・体育における「児童が密集する運動」（★）や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」（★）

上記の活動は、活動を停止するか、可能な限り感染症対策を行ったうえで実施します。実施するうえでも児童の「接触」「密集」「近距離での活動」「向かい合っでの発声」について、可能なものは避け、一定の距離を保ち、同じ方向を向くようにし、また回数や時間を絞るなどして実施します。理科の実験はできるだけ個人の教材教具を使用し、児童同士の貸し借りはしないようにします。器具や用具を共有で使用する場合は、使用前後の消毒や手洗いを行います。（★）の活動を実施するときは特にリスクが高いため職員間で相談・検討の上実施します。

部活動（金管）

- ・練習前後に石鹸で手洗いを行う。
- ・密集・密接、近距離での活動、向かい合っで行う活動を避けるようにする。
- ・演奏をしないときはマスクを着用する。

その他

- ・トイレについては混雑しないように動線を示す。トイレ利用中は私語を慎む。

ご家庭での健康観察へのご協力いつもありがとうございます。8月からは、同居家族の健康状態の確認も再びお願いします。健康観観察カードに記入欄を設けます。

以上、レベル2における「西内小学校の新しい生活様式」として取り組んでいきます。

新しい友達こんにちは！ 青木村からヤギがやってきました

休み時間、動物小屋の掃除に余念がないチームヤギの面々でした。手にほうきやちりとりを持って、動物小屋をきれいにしていました。今日は青木村からヤギがやってくる日です。

6時間の総合的な学習の時間に、青木村から堀内さん夫妻がヤギを連れてきてくれました。チームヤギにヤギをレンタルしにきてくれたのです。

3月8日に生まれたメスのヤギです。思うように動いてくれず、チームヤギのみなさんはヤギを小屋まで連れていくのに苦労していましたが、そのうちに慣れていくのではないのでしょうか。

小屋では堀内さんからヤギを飼うポイントを聞いて、早速葉っぱをとってきてエサをやりました。食べる葉っぱ、食べない葉っぱがあり、子どもたちにはそんなところからもヤギのエサの好みを考えている様子がありました。

チームヤギのみなさんからは堀内さんに、「ありがとうございます。」「大切に育てていきます。」といった言葉がありました。

チームヤギのみなさんとヤギのかかわりがどうなっていくか楽しみです。大切に育てていきましょう。



「新しい仲間ができた！」 子どもたちとサナのかかわり

ヤギの名前は「サナ」となりました。3月に生まれて7月に西内小学校に来たから、さん月となな月の頭文字をとってサナです。誕生と出会いを記念したよい名前だと思います。チームヤギのみなさんが名づけ親です。

朝や休み時間には、たくさん子どもたちがサナのところにやってくる、葉っぱをあげたり散歩に連れていったりしています。そのすきにチームヤギの子どもたちは小屋の掃除をしています。

まだ西内小にやってくる間もないサナは、独りになるとさびしいのかよく鳴きます。しかし子どもたちに囲まれていると鳴くことなく、心なしか落ち着いているように見えます。

1年生が「ぼくたちに新しい仲間ができた！」と言っていました。子どもたちにとってサナのいる日常は新しい生活の形になっていくかもしれません。



みんなで体を動かしました 今年度最初の体みがき体操

7月3日に昨年度から始めた体みがき体操、今年度一回目がありました。月一回程度やっていきます。

講師の堀内先生、長井先生に指導してもらいました。今回は感染症予防からマスクをしたままの運動ということで、激しい運動ではなく、その場でできる軽い運動を行いました。

足踏みをしたり駆け足をしたり、腕を大きく回したり寝転がって足を動かしたり、いろいろな動きをやりました。拍手の合図で運動を変えるなど、あきない工夫をしながらの運動でした。



子どもたちから「疲れた」といった声が聞かれたことや動きを見て、「少し体力が落ちているかもしれない。」とは指導後の堀内先生の談です。「軽い運動から始めて楽しみながら徐々に体力をつけるように見ていきたい。」との言葉もありました。

長い臨時休業が明けて、体力も戻しながら体幹を養う体みがき体操に取り組んでいきます。

早川先生の金管指導 1・2年と3～6年

7月6日に文化庁芸術家派遣事業として、金管指導者の早川潔先生に指導をしていただきました。

4時間目は1，2年生です。早川先生は金管楽器で喜怒哀楽の感情を表現し聴かせてくれました。子どもたちは大盛り上がりでいろいろな音をリクエストしました。楽器を自分でも演奏してみたいと思ったことでしょう。

3～6年生は体育館で演奏の指導をしてもらいました。5・6時間目と放課後の長時間の練習でしたが、早川先生の情熱的な指導に引っ張られるように集中して取り組みました。

1・2年生は金管楽器に興味を高め、3～6年生は金管演奏に浸った文化庁芸術家派遣事業となりました。充実しました。



交流の場になっています 第一回西内クラブ

新型コロナウイルス感染症防止のため、昨年度末以来中断していた西内焼き物クラブが開催されました。7月3日、今年度一回目です。

月2回程度、金曜日の夜に活動していきます。今年度は2名の6年生が入会し、地域の方といっしょに活動しています。

子どもたちが入会したことを地域のみなさんはたいへん喜んでくれています。6年生はおやつのピーナッツをいただいでうれしそうでした。焼き物以外のそんなやりとりも交流です。

一回目の活動ですが、活動場所を図工室と理科室に分けて密にならないように配慮がされていました。今後どんな焼き物作品ができるか楽しみです。

西内クラブは学校と地域の交流を深める場になっています。



10月3日 運動会について

臨時休業により、秋に延期となった運動会について説明させていただきます。

臨時休業明け、全児童との個別面談を実施しました。休業明けの児童の悩み、困りごとに対応したいと考えた面談でした。そのなかで、何人かの子どもたちから、「コロナが怖い」という声が聞かれました。自分がかかったら、家族や友達がかかったらどうしよう、怖いというのです。学校として予防の態勢をとっていること、また、手洗いやマスク着用をしっかりとやっとうと伝え励ましました。

そして、「コロナが怖い」より多く、最も多かったのが「学習面が心配」というものでした。「休業中に家でやった学習がわかったのかわかっていないのか、自分でもわからない」「授業の時間が少なくなって、授業がすごいスピードで進んだらどうしよう。」という声がありました。子どもたちには、しっかり時間をとって授業をやっていくこと、子どもたちのペースを大事にして授業を進めていこうと先生たちで話している旨を伝えました。そうしたところ安心した様子が見られました。

学校として、時間をしっかり確保して学習指導にあたりたい、子どもたちの学ぶペースを大事にして授業を進めていきたいと考えています。授業時数確保のため、夏季休業の大幅短縮に加え、ご案内していますように子どもたちの負担を考慮しながら水曜日6時間目の授業、モジュール学習（週3回15分ずつ）の実施をしています。ですが、およそ2か月の臨時休業により失われた授業時数は、6年生を例にとると190時間にのぼり、それだけでは補えないものです。

次に諸行事の見直しということになります。運動会を例にとると上田市内でも30パーセントほどの小学校が感染予防、授業時数確保の観点から運動会の中止を決定したり、検討したりしているところですが。他の学校においても、運動会の簡素化・簡略化を考えています。

本校におきましては、授業時数の確保と、子どもたちが楽しみにしているという観点から運動会の実施を両立させたいと考えています。授業時数の確保については先ほど説明した夏季休業の短縮と日課の見直しによる授業増とともに、運動会についても例年から若干準備、練習の時間を減らしながら実施したいと考えています。同時に新型コロナウイルス感染症予防の対策もとっていきます。

つきましては、今年度の運動会を午前開催、昼食は帰宅後とする形で実施したいと考えています。このことにより授業時数の確保と行事实施の両立、また新型コロナウイルス感染症予防を図っていきたいと考えています。運動会の中身につきましては、児童の競技を中心として実施し、児童が充実感を得

られるものを工夫していきたいと考えています。来賓種目など割愛させていただく場面も出てくるかもしれませんがご容赦願えればと思います。

運動会につきましては、準備、片付け等にPTAの皆様のお力を例年のように多くお借りすることになるかと思えます。また、競技参観につきましても、新型コロナ対策として例年とは異なるお願いをすることもあるかもしれません。こちらにつきましてもご理解・ご協力をお願いいたたく存じます。

具体的な運動会の内容、時間等につきましては、運動会が近づきましたら案内状、プログラム等でお示ししていきたいと考えています。以上お願いやご理解・ご協力を賜ることばかりで恐縮ですが、何卒よろしく願いいたします。

今年度の米作りについて

例年5年生を中心に行ってきた米作りですが、昨年度末のPTA総会でも連絡させていただいたように、稲作ボランティア様を募集させていただきながら、全校米作りとして取り組んでいます。

児童数、家庭数の減少により、一学年だけで米作りをやっていくのが難しい状況になってきました。また、例年5年生の総合的な学習の時間で米作りを行ってきましたが、今年度は総合的な学習として、個人の課題を大切に、地域における探究的な学びを実現することをめざして取り組んでいます。秘密基地づくりやヤギの飼育、地域の歴史や自然の調査など活動が進んできています。

そういった諸状況を鑑み、米作りを全校行事とし、学校、ご家庭、地域の皆様の交流の活動として設定し直し、より多くの人がかかわりあう機会にしたいと考えました。西内小の教育活動として、新しい価値を生み出そうと考えた次第です。

繰り返しになりますが米作りを全校行事とし、児童、保護者の皆様、地域の皆様の交流がさらに広がる、深まる活動としていきたいと考えますので、さらなるご協力をお願い致します。

新型コロナの状況にもよりますが、今後稲刈りや脱穀、収穫祭へのご参加をご家庭、地域に呼びかけていきたいと考えていますので、ご協力いただければと思います。

よろしく願いいたします。

ご来校ありがとうございました 今年度初めての授業参観

年度当初の計画であれば4月に行っていた第一回の授業参観ですが、コロナ禍により実施することができなく、本日今年度初めての授業参観を実施することができました。学校としてはやっとここまでこぎつけることができた感慨深いです。保護者の皆様、地域の皆様のご支援ありがとうございます。

大雨警報が出ていて実施を心配したのですが、午後の授業参観の頃には雨もやみ安心しました。ですが、川の増水、土砂崩れの心配から付き添い下校とさせていただきました。急なお願いにもかかわらずご対応をありがとうございました。



授業参観ですが、1年生は「カタカナ・ひらがな」の学習でした。同じカタカナのつく言葉を探したり、拗音を手でリズムを打ちながら発話したり、楽しく学習しました。

2・3年生は「書き方」「書写」の学習でした。漢字の形に注目したり、毛筆で右払いを練習したり、落ち着いて学習しました。

4・5年生は「1億をこえる数」「少数のわり算」でした。一人ひとりノートに自分の考えややり方をしっかりまとめて、集中して取り組みました。

6年生は「人の体と動物の体」として、心臓の鼓動を確かめたり、脈をとれる位置を調べたりしました。自分の体を調べるのは珍しい体験だと思っています。

「うちのお母さんまだ来ないな。」とつぶやいている子がいて、お家の方の姿を見つけると笑顔になっていました。久しぶりに保護者の皆様や地域の皆様に授業参観で来校いただくことができ、学校としてはまた再開後の新たな一歩を踏み出せたとうれしく感じています。

ご来校ありがとうございました。

中学校の先生の授業 算数「分数÷分数」

丸子中学校区の小学校では小中連携事業と称し、中学校の先生が小学校で算数の指導をする活動をしています。対象は5・6年生です。西内小学校では1・2学期に6年生、3学期に5年生が指導してもらいます。

この事業の目的の一つは学力向上です。中学校の数学を見通して、小学校で学ぶべきこと、学んでおきたいことを明らかに算数の指導が展開されます。また、指導の手厚さも学力向上につながるものでしょう。中学校、小学校の教員がチームを組んで学習指導をするので、子どもたちへの支援は厚くなります。

子どもたちにとっては来年度進学する中学校の先生との関係づくりを小学校のうちからすることで、昨今指摘されている「中一ギャップ」解消につながることを期待できます。

新型コロナによる臨時休業で実施できずにいた小中連携事業ですが、今年度第一回を実施することができました。6年算数「分数÷分数」です。丸子中学校の松井先生指導の授業でした。担任の宮澤先生は個別支援にあたりました。

6年生に授業の感想を聞いてみました。「図を使ってわかりやすく算数の学習ができてよかった。」「大型テレビで、図を見せてもらいながら算数の学習ができて楽しかった。」との声が聞かれました。

明日も小中連携事業の授業があります。学びを深めていってほしいです。



学校支援ボランティアさんありがとう カブトムシの腐葉土

1年生ではカブトムシをつかまえた子がいて、飼うにはどうしたらいいか調べていました。下に敷くのは砂や普通の土より腐葉土が望ましいようです。

そんな1年生の情報を聞きつけて、学校支援ボランティアの齋藤さんが腐葉土を届けてくれました。カブトムシの幼虫やさなぎが含まれる、地元、鹿教湯温泉の腐葉土です。

1年生のみなさんから齋藤さんに「ありがとうございます。」とお礼の言葉がありました。「カブトムシの幼虫がたくさんいる場所が鹿教湯温泉にあるから紹介しますよ。」齋藤さんは1年生にそんな言葉を送ってくれました。

地域の学校支援ボランティアさんと1年生がつながりました。今後学習活動を通じてつながりが広がり深まっていくといいです。



健康な生活をめざします 新型コロナ対策と耳鼻科検診

耳鼻科検診で、校医の先生に検診をしてもらいました。

例年の耳鼻科検診と違うのは新型コロナ対策をしながらの検診ということです。順番を待つ場所に足型マークをつけ、ソーシャルディスタンスをとれるようにしました。

マークの効果で、しっかり前後の人と距離をとって待つことができました。

検診と新型コロナ対策のダブルで健康な生活をめざしています。



7月13日 今シーズン初めて 全校水泳

少々肌寒くプールに入り始めたら小雨が降ってきましたが、気温・水温は規定の値を満たしていますし、逆にプールの中は温かく感じるようで、子どもたちは今年度初めてのプールを楽しみました。

小プールは1・2年生、大プールは3～6年生が使って、西内小学校では全校水泳を実施しています。全校でやることで指導者が増え、課題別グループをつくって取り組んでいきます。体育館で準備体操をしてからプールに入りました。

1年ぶりの水泳学習です。今日は水に慣れることを重点に取り組みました。小プールではプールを歩いたり走ったり輪をくぐったり。大プールでは水中おにごっこから活動をはじめました。

今年度は更衣の場所を増やし、密にならない工夫をして取り組んでいます。



PTA 親子作業で清掃をしていただいたプールです。昨年度の台風19号の影響があつて排水がうまくいかず苦労しましたが、おかげさまできれいなプールで学習をスタートすることができました。プールに子どもたちの歓声が響いていました。

あたためると体積が増える ではどのように増えるか

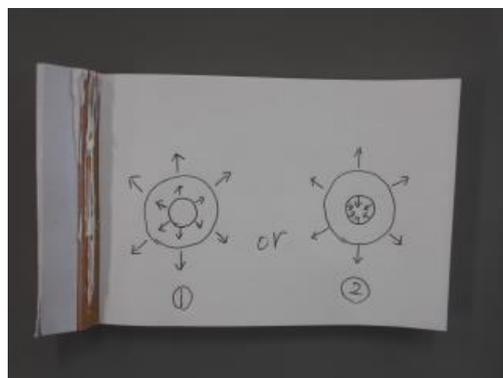
4年生の理科ではものの温度と体積の関係について学習しています。

今までお湯を使ってあたため、空気や水の体積が増えることを確かめてきました。この日は実験用ガスコンロを使って金属球を熱し、体積の変化を調べました。上の左の写真のような実験器具で最初輪を通った金属球が、熱すると輪を通らなくなることから、金属もあたためると体積が増えることをつきとめました。

子どもたちが次に考えたのが、輪の方を熱するとどうなるかということでした。上の図①のように膨張すれば金属球を通るし、図②のように膨張するのであれば逆に金属球は通らなくなるはずです。

予想は分かれ、実際に輪を熱して確かめてみました。すると・・・金属球は輪を通りました！どうも輪は図①のように、内輪も外に向かって膨張するようです。

自分たちで「これはどうなるのだろう」と問題をつくって学習した一場面でした。



いい音が出てきています 金管の活動

職員室には体育館で練習する金管バンドの楽器の音がよく聞こえてきます。

今日の西内の時間にも練習の音が聴こえてきて「おお」と思い、改めて耳を澄ませてよく聴いてみました。以前よりも音がよく出ていて、尚且つ澄んでいるように聴こえました。

体育館では基本の音出し練習に取り組んでいる金管バンドの皆さんの姿がありました。



今年度から3～6年生の活動となり、年齢層はぐっと下がりました。また、新型コロナウイルスによる休業の影響で空白も大きかったです。

苦労したところもあると思いますが、休業中の個人練習、学校再開後の継続的な練習により、ぐっと力が伸びてきました。

担当の下形先生に訊いてみると、「音が出るようになってきましたね。もっと自信をもって吹いてくれるといいなあ。」とのことでした。

職員室の定点鑑賞では確実に上達した音が聴こえてきます。

自信をもって練習してってください。

地域講師の先生ありがとうございます ミニ四駆クラブ

第2回のクラブ活動がありました。

ミニ四駆クラブは、地域講師の齋藤重徳先生に指導してもらっています。ミニ四駆にお詳しい齋藤先生に、ご多用の中クラブの時間に来校いただき、教えてもらっています。

今年度長い臨時休業があり、授業時数が足りずクラブ活動が実施できるかわからない状況にありました。しかし、時数確保の工夫をしてクラブ活動を実施できることになり、次はどんなクラブを設置するか子どもたちに希望をとったところ、「ミニ四駆」の声が出てきたのですが、詳しい職員がいなく、設置が難しい状況のところ手を挙げていただいたのが齋藤先生でした。

子どもたちはクラブをたいへんに楽しみにしていて、「できるところまで家で作ってきた」と準備を丹念にしている子の姿があったり、クラブ活動の時間が終わっても、全員の子どもが放課後残って活動していたりとたいへん意欲的な活動ぶりです。

「次のクラブはいつだっけ。」と次回のクラブも心待ちにしているようです。このような子どもたちの意欲的な姿が見られる機会がもてるのも、地域講師の齋藤先生のおかげです。学校の足りないピースを齋藤先生に埋めていただきました。

地域に支えられている西内小学校、地域に支えていただいているありがたさを実感します。



新型コロナ対策をしていただきます 給食の様子

新型コロナウイルス感染症対策ですが、給食は特に留意して対策をしています。

本来であれば食堂で全校給食なのですが、密を避けて、1～3年生が食堂、4～6年生が教室で給食を食べています。

食堂、教室、それぞれ食事前の消毒を入念に行っています。食堂では1～3年生が集まってくる前に、配膳台、テーブルのアルコール消毒を実施しています。

テーブルの数が多く、机上面積も広いので、複数の職員で分担してやっています。

教室も、職員の分担で配膳が始まる前に消毒をしています。



給食中は隣との間隔をとって、同じ方向を向いて食べています。おしゃべりは少なく、しゃべる場合も小さい声で話すようにしています。

そのほか「西内小の新しい生活様式」はいくつかありますが、このように給食も新しい様式になっています。

安心・安全の中でおいしい給食が食べられるようにしていきたいです。

国語と算数の学習の様子

教科の時間数でいうと国語と算数が占める割合が大きいです。

例えば6年生は国語週5時間、1年生は9時間です。算数は6年生週5時間、1年生は4時間となります。ほぼ毎日国語と算数が時間割にあることになります。

今日の2時間目は全学年国語か算数の授業でした。



1年生は算数で単位が話題となっていて、「とう（頭）」と答えること確かめました。

2・3年生は複式の算数でした。デジタル教科書を使って問題を考えていました。

4・5年生は国語で、4年生は壁新聞をつくり、5年生は漢字プリントの確かめをしました。

6年生は小中連携事業の丸中：松井先生の授業で、スライドをもとに問題を考えていました。

授業時間数の多い国語と算数です。日々の積み重ねで力をつけていきたいです。

舟をつかって浮かべます リユースにもなります

1・2年生は図工・生活科で、浮かばせて遊ぶ舟づくりに取り組んでいます。

家からトレーやペットボトルなど使い終わったものを持ってきて、貼りあわせて船にしています。「家の形の舟にしたんだよ。」「舟に魚の絵を描いたんだ。」と自分の表現を教えてくださいました。

プールにまで持ってきて、浮かぶかどうか試しながらつくっています。

見事に浮いていて、安心した様子でした。

プールの時間に本格的に浮かばせて遊んだり、川で浮かばせて遊んだりする計画があるとのこと、楽しみです。

使い終わった物を材料に工夫して価値を見出す、リユースの舟づくりです。



梅雨うっとうしき折 学校生活の様子

今年の梅雨は長く雨量も多いです。県内外で大雨の大きな被害にあわれている方も多く、お見舞い申し上げます。

年度当初の計画では今は夏季休業ですが、お知らせしていますように臨時休業により夏季休業が大幅短縮となり、まだ学校はやっていますし、尚且つ梅雨は明けません。

7月27日1時間目の4年理科では、中庭や校庭に夏の生き物の観察に出かける予定でしたが、激しく雨が降っていたため、動画を見て学習しました。動画で見たことをもとに次回は夏の生き物実物を観察したいです。



休み時間の子どもたちの遊びも、雨のため体育館に集まって遊んでいる子が多かったです。

低学年から高学年まで混じってバスケットボールをしている子どもたちがいました。

5時間目のプールの頃には雨が上がり、それぞれ水遊び、浮く・泳ぐ、水泳と学年に応じた活動を行うことができました。

子どもたちの歓声がプールに響きました。

梅雨うっとうしき折ですが、天候状況に応じて休み時間等楽しむ子どもたちです。また、天候状況に応じて学習活動を設定しています。

学校の外に出かけました サナと試しの散歩



7月28日の総合的な学習の時間、チームヤギの子どもたちは飼育するヤギのサナを連れて学校の外へ散歩に出かけました。

「サナといろいろな場所に行ってみたい。」「地域の人にかわいがってもらいたい。」「サナを広い野原に連れて行ってあげたい。」などそれぞれに願いをもっている子どもたちは、「ヤギの散歩は成立するのか」試しの散歩に出かけました。

試しの散歩の成果と課題を確かめて、遠出の散歩に出かけようとの見通しをもっています。

サナにリードをつけて、フンをしたときの対応にスコップとバケツを用意して出かけました。

橋を通過するサナと子どもたち、道路端で草を食むサナとそれを見守る子どもたち、横断歩道を渡るサナと子どもたち、普段見られないサナと子どもたちの姿が試しの散歩でたくさん見られました。

また、道端でサナが夢中で食べていた草がヨモギ、またもう一種類葉っぱがあったのですが、名前がわからなかったのもまた調べてみるといいですね。

次の時間は試しの散歩を振り返って、本格的な散歩の計画を立てていきます。

自分の伝えたいこと ラジオの収録

7月29日、ラジオの収録がありました。西内ラヂオではなく SBC ラジオです。

学校を代表して4～6年生18名が収録に臨みました。
テーマは自由ということで、それぞれに自分がラジオを通して伝えたいことを SBC ラジオさんに収録してもらいました。

防音環境が整っている放送室で、一人ひとり収録しました。

「ぼくたちの学校にはミニ四駆クラブというクラブがあります。10人でコースを一から作ったり、みんなでミニ四駆を作ったりしています。コースはお店で買わず段ボールで一から作っています。ミニ四駆はそれぞれで買い、学校でみんなで作ります。1回目はみんなで協力してミニ四駆をつくりました。2回目は段ボールでコースをつくりました。段ボールで直線コースを作ることができました。みんなのミニ四駆を走らせました。クラブの中には家で1台目を作り二台目を学校で作ってくる人もいたり、家で少し作業してから学校で完成させる人もいました。3回目のクラブは夏休み後ですが、今から楽しみです。地域の先生に教わりながら活動していてクラブが楽しいです。」

上のような発表もありました。

一発 OK の子がいましたし、SBC ラジオの方が「いいんじゃないかな。」と言っても、「少し失敗したからもう一回録らせてください。」と再チャレンジしている子もいました。

放送は8月です。詳細ははまたお知らせしますので楽しみにしててください。



8月の予定

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7 1学期終業式	8 夏季休業 (~17日)	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18 2学期始業式	19	20 学校運営委員会②	21 西内クラブ	22	23
24 芸術家派遣事業 (早川先生来校)	25 二学期初めの児童個別面談①	26 二学期初めの児童個別面談②	27 二学期初めの児童個別面談③	28 西内クラブ	29	30
31						

【登校日数15日(累計61日)】

- ・10日間の夏季休業は8日(土)～17日(月)です。例年にくらべ短い夏季休業となりますが、ご家庭、地域でよい休みをお過ごしください。安全・健康面には十分ご配慮ください。
- ・25日(火)～27日(木)の「二学期初めの児童個別面談」により、児童の困りごとや心配ごとへの対応をします。全児童との面談をします。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、予定が変更になることがあります。その際は、学年だよりや安心メールでお知らせします。

学校では不祥事根絶に向け、服務規律の遵守に努めていくように、非違行為防止研修を実施しています。

「われら西内小学校」クイズ

今年初めての学校のプールの授業はいつだったでしょう。



このおたよりをよく読んで答えてね。

4月1日はまだ寒いから違うよね。



- ① 4月1日 ② 6月1日 ③ 7月13日

※最段の年よりだいぶ遅いですが、その分8月の下旬まで学校があるのでそこまで入れます。プールでの活動を楽しくしてください！(答え③)